

# シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校  
2024. 12. 24



「スカパープ公園横にある古い蒸気機関車はどこで作られたものか？」

— 興味・関心が向かう先の「ものの見え方」の違い —

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

現在、シラチャ日本人学校では、小学部中学年を対象とした社会科副読本である「わたしたちのまち タイ・シラチャ」の改訂作業の準備段階にある。今年度中に資料を集めたり、内容の見直しのアイデアなどを蓄積したりしながら、来年度に本格的な改訂作業に取り掛かる予定である。



ところで、これまでの「わたしたちのまち タイ・シラチャ」(写真右上)の中に必ず取り上げられているのが、シラチャからロイ島まで鉄道の線路が通っていたころの話である。それは、20 世紀初めにジェーム・セーチュートー(後のチャオプラヤー・スラサックモンتری)氏(写真右下)によってシラチャに材木業が起こされ、シラチャ周辺の山地から切り出された木材がロイ島の埠頭からバンコクなどに運ばれていたという内容であり、山で伐採した木材を貨車に積み込む場所まで運ぶのにはゾウがずいぶんと役立っていたらしい。



このロイ島の歴史を、中学部社会科(歴史)の授業で使うとしたならば、「スカパープ公園の横の屋外に置かれている蒸気機関車はどこで作られたものだろうか?」「それはなぜだろうか?」という問いから出発すると面白い授業になりそうだというイメージが湧いた。



スカパープ公園横にある蒸気機関車

その問いに対して、日本の鉄道の歴史を当てはめて考えて、「1872年(明治5年)、日本で初めて新橋－横浜間を走った蒸気機関車はイギリス製だったことから、シラチャで最初の蒸気機関車も、産業革命の先駆けとなった鉄道先進国のイギリス製だろう」と、最初に予想した。しかし、当時の列強のアジアにおける勢力圏のバランスから考えると、どうも違うような気がしてきた。

シラチャに材木業が成立したのは、1900年の初頭。車という交通手段がまだ一般的ではない時代に、最も大切なロジステクスは鉄道であり、その敷設の前提となるのが「鉄道敷設権」だった。日清戦争の講和条約である下関条約の調印直後に、ロシア、フランス、ドイツが共同して、日本が下関条約(1895年)により獲得した旅順や大連のあるリャオトン半島を清に返還するように三国干渉によって日本に強い圧力をかけ、日本がやむをえずそれに応じたという歴史的な出来事があったが、その後、すぐさまロシアは、リャオトン半島から満州方面にかけての鉄道敷設権を清に認めさせた。そのことから、当時、植民地獲得競争ともいえる行動原理を有していた帝国主義下の列強諸国にとって、「鉄道敷設権の獲得」がどれほどの重大さで捉えられていたかがよくわかる。

そうした意味では、東ではフランス、西や南ではイギリスという列強がタイの近くで

植民地獲得や支配強化のための行動を活発化させ、それがタイにも迫ろうかとしていた時代に、タイという外交巧者<sup>がいこうこうしゅ</sup>の国がイギリスにそう簡単に鉄道敷設権を認めるようにも思えない。

そこで、「もしかしたら、イギリスとフランスと対抗する力のある「第3国」に鉄道敷設権を認め、その国で作られた蒸気機関車がシラチャで使われたのではないか？」という仮説のもとに、いろいろと調べてみた。すると、予想通り、ウイルヘルム2世の時代(1888~1918年)のドイツ(当時はプロシア)国内の工場で製造された「ドイツ製」であるという情報にたどりついた。

やはり、当時のタイは、イギリスやフランスに対しては、タイ国内における鉄道敷設権を認めず、彼らのライバル国であったドイツに対してその権利を認めていた。つまり、イギリスやフランスと対抗的な立場にあったドイツに近づき、ドイツの技術を導入することによって、タイの外交的な安全保障政策を進めるとともに、タイの鉄道を中心としたロジステクスを発達させようとしていたらしいことが分かった。(実際には、イギリスもタイ国鉄の黎明期<sup>れいめいき</sup>には強く関与している)。

ここまで整理できると、すっきりした気持ちになって、シラチャ市庁舎前の広場に行き、そこに展示されている蒸気機関車を写真に撮っていたら、なんと機関車横に取り付けられた比較的大きな車体製造プレートに、しっかりとドイツの工場製であることを示す文字が刻まれていることに気が付いた。(右写真)



それは、私自身、以前には気が付いていなかったプレートと文字だったので、前回の「学校だより」でも述べたように、興味・関心の方向次第で物の見え方が違ってくるものだと、あらためて感じたのであった。

---

2025年にも、シラチャ校の児童生徒の皆さんが、ますます新しい世界への興味・関心を自らの手で広げることによって、素晴らしい成長と発展、そして飛躍<sup>ひやく</sup>の年にしていられることを願っています。

それでは、皆さん、良いお年をお迎えください。

## 「4年生 校外学習 タイの伝統工芸 竹細工」

第4学年主任 田中 信裕

4年生各クラスは、11月にチョンブリー県パナットニコム郡にある竹細工工房「プラニーさんの家」へ校外学習に行きました。工房はシラチャから車で北西に約1時間の場所にあります。タイの伝統工芸については、社会科や「総合的な学習の時間」でも学んでおり、シラチャ日本人学校の社会科副読本『わたしたちのまち タイ・シラチャ』でも、この工房は、国に認定されたOTOP(一村一品運動)の製品を生産している場所として取り上げられています。

校外学習当日、職人さんの手本を見た子供たちは、「作るスピードが速い」、「とても簡単そうに編んでいる」などと驚きの声を上げていました。実際に活動が始まると、竹は、編み方の練習の時に使った紙とは異なり、硬くて曲がりにくく、固定してもすぐに組んだものがほどけてしまうなど、みんな苦戦している様子でした。職人さんから指導を受けながら作業を進め、最終的には自分たちの作品を完成させることができました。

体験後、工房の展示スペースで巨大な竹製のシンハー像やガルーダ像、仏像を見学しました。現在、竹細工づくりの後継者となる若者は少なくなっており、高齢の職人さんたちが生産を支えているそうです。若い人たちは企業のオフィスや工場で働くことが増え、伝統を次世代に伝える担い手の減少が心配されています。タイの「一村一品運動」にも指定されているこの竹細工が、未来に引き継がれていくよう応援していきたいですね。



## 繋がろう

小学部交流会担当 播村 有香

11月27日(水)に、小学部の交流会を実施しました。今年度は、タイの現地校であるパサーズック校で行いました。

開会式では、「パプリカ」のダンスを踊ったり、「365日の紙飛行機」をタイ語・日本語の両方で歌ったりしました。ともに練習を積み重ねてきたこともあり、会場が一体となっていました。

各学年、学級の様子を見ていると、学習したタイ語で一生懸命伝えようとする気持ちが伝わってきました。また、言語によるコミュニケーションのみでなく、ジェスチャーで自分の言いたいことを何とか表現しようとする姿も見られました。今回のスローガンである、「言葉の壁を越えよう」とする気持ちを大切にしながら活動していたのだと感じました。

各学年の交流活動では、日本の文化を紹介する活動を行いました。最初は少し緊張していた表情の児童もいましたが、時間が経つにつれ、楽しそうな笑顔がたくさん見られました。交流会後の振り返りには、「言葉が違って仲良くなれることを知った」「交流会はすぐお別れになってしまうから、回数を増やして欲しい」とありました。今回の会が児童にとって、実りあるものであったことを実感しました。

現地校との交流は海外にある在外教育施設ならではの活動の一つです。交流会を通して、児童が相手を受け入れようとしていたり、理解しようとしていたりする気持ちの大切さに気付くことができたことは、とても価値のあることだったと思います。今後もタイと日本の関わりを大切に過ごしてほしいと思います。

## タイの文化紹介コーナー

11月15日に行われた「ローイクラトン」は、タイの人々の間で古くから続いている「灯籠を川に流す風習」で、旧暦12月（現在の11月または12月）の満月の夜、川の女神「プラ・マー・コンカー」へ感謝の気持ちを捧げ、自らを清ます。この風習には、神への信仰や人と川の深い関わりが現れており、「水の祭典」とも呼ばれています。「クラトン」は灯籠、「ローイ」は、「川に流す」ことを意味します。人々は、クラトンを川に流す前には、お願いごとを唱えて祈ります。ローイクラトンの祭りの形は、花火が打ち上げられる地域もあるなど、それぞれの土地によって異なりますが、友達や家族みんなで楽しめるイベントとしてどの地域の人々にも親しまれています。





# 1月の行事予定

## 3学期始業式

8日(水)は、3学期の始業の日となります。始業式がありますので、小学生の皆さんは袖付き、襟ありの服装で登校してください。また、この日は全校5時間授業となります。お弁当も必要ですので忘れずに持ってきて下さい。他にも、各学年・学級から出ているお便りをもとに、準備をお願いします。

## 7・8年保護者向け進路ガイダンス

13日(月)の4校時は7・8年生の保護者を対象とした進路ガイダンスを行います。在外から日本の高校へ進学する場合に気を付ける点等をお伝えします。是非、この機会にお子さんの次の進路先についてご家庭でも話し合う機会になればと思います。例年より1ヶ月ほど早く実施します。

## 7・8年実力テスト

14日(火)は7・8年生の実力テストがあります。これまでの学習の定着を確認する機会となります。また、この結果は高校受験における貴重な資料にもなります。日々の学習成果を十分に発揮できるように計画的に取り組んでいきましょう。

## 3・5年 校外学習

16日には5年生が三菱自動車の工場を、30日には3年生がタイのインスタントラーメンで有名なMAMA(ママー)の工場を校外実習として訪問します。現地生産の現場を直接自分の目で見ることで、さらに深い学習につながることでしょ。

## 避難訓練【地震】

17日(金)の3校時に地震発生時の避難訓練を予定しています。第1学期には不審者侵入時の避難訓練を、第2学期には火災発生時の避難訓練を行いました。そして、今回は災害(地震)を想定した避難訓練となります。災害はいつどこで起こるかはわかりません。大切な命を守るための重要な学習です。

## 8年 修学旅行

22日(水)から2泊3日の日程で、8年生がチェンマイに修学旅行に行きます。学級での事前学習や準備をしっかりとし、最高の修学旅行を目指しましょう。

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(水)	元日	
2日(木)	冬季休業	
3日(金)	冬季休業	
4日(土)		
5日(日)		
6日(月)		
7日(火)		
8日(水)	・3学期始業式・全校5時間授業 ・購買(注文票配布日)	14:20 P1-6 M1-3
9日(木)	・購買(注文票提出日)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
10日(金)	・委員会(小学部)・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
11日(土)		
12日(日)		
13日(月)	・進路ガイダンス(7,8年生保護者対象4校時)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
14日(火)	・実力テスト(7,8年)・放課後指導(1年) ・定例委員会(中学部)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
15日(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
16日(木)	・三菱自動車工場見学(5年)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
17日(金)	・避難訓練(地震)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
18日(土)		
19日(日)		
20日(月)	・クラブ(小学部)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
21日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
22日(水)	・修学旅行(8年)・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1、3
23日(木)	・修学旅行(8年)・購買(注文票提出日) ・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1、3
24日(金)	・修学旅行(8年)・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1、3
25日(土)		
26日(日)		
27日(月)	・シラチャ作品展搬入(平面)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
28日(火)	・シラチャ作品展搬入(立体)・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
29日(水)	・シラチャ作品展保護者優先鑑賞(31日まで) ・縦割り班活動(1~9年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
30日(木)	・シラチャ作品展保護者優先鑑賞(31日まで) ・アクティブタイム(中学部)・放課後指導(2年) ・MAMA工場見学(3年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
31日(金)	・シラチャ作品展保護者優先鑑賞(31日まで) ・学校・学年だより配信・学級だより配信(中学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

## 引っ越しをされた場合

担任へ Google 連絡帳等でご一報ください。また、電話番号が変わった場合も同様をお願いします。緊急時のご連絡先(SMS含む)の把握にも必要となります。

## シラチャ作品展

29日(水)から「シラチャ作品展」を開催させていただきます。図工や美術、技術、家庭科で子どもたちが一生懸命に作成した作品を、来校いただいた際ご覧ください。なお、ホールは上履き等が必要になりますので、お忘れなくご持参ください。